

ひとりのみどりごが私たちのために生まれる。ひとりの男の子が私たちに与えられる。

イザヤ書 9章6節

アドベントも第三週となり、来週にはクリスマスを迎えます。私たちがアドベントの期間イエス様の誕生を覚えながらクリスマスを待ち望むように、イザヤが活動していた時代の人々もメシヤ(救い主)を待ち望んでいました。

イザヤが生きた時代は非常に難しい時代でした。アッシリア帝国が世界を支配し、北イスラエル王国はアッシリアによって滅ぼされてしまいます。国同士の争いが絶えず、そして主の目に沿わない王様が立てられ宗教的にも困難な時代でした。

そんな時にイザヤはこの救い主の預言を人々に伝えたのです。まさに暗黒の時代の

中に現れた一つの光として人々はこの言葉を受け取ったでしょう。

イザヤの預言した救いには三つの特徴があります。一つ目は弱い者を覚え救ってくださるといふ事です。イスラエルが弱っている時に、神様は救い出すと約束をされました。ルカの福音書でも当時地位の低かった羊飼いたちにイエス様が生まれたことが最初に知らされました。

二つ目は神が人となって地上に来られるという事です。「ひとりのみどりご」と書かれているように、神であるイエス様が人となりこの地上に来られました。イエス様は私たちの罪の赦しのささげものとしてこ

の世に来てくださいました。これは神様のへりくだりによるものです。(ピリピ2章5〜7a節)

そして三つ目は救いは主の愛によるということです。9章7節に「万軍の主の熱心が」といふことがありますが。本来であれば神の救いを受け取る者に値しない者に、神の熱烈な愛によって救いがなされるということです。

この三つのことは今を生きる私たちにも当てはまります。私たちが弱く困難な時にも神様は覚えて下さり、救い出してくださいます。そしてイエス様が地上に来られたのは私たちのためであり、その救いは神様の愛によります。この事を知り受け取った時、私たちは主を待ち望み賛美し礼拝する者へと変わっていくのです。

【報告 消息】

・有志ボランティアによる

無料食品配布について

シオン館で4日に実施。社会福祉協議会のスタッフも応援に来られるなど地域との繋がりを持つことができました。

ボランティアアチーム代表の山口光男兄から感謝の言葉です。

「ご支援をありがとうございます。48名(子ども9名含む)に食品をお渡しできました。」

【教勢報告】 12月5日

第1礼拝 27名

第2礼拝 40名

小学科ホザナ礼拝

小1名 中2名 高2名

【本日の配布物】

・ 12 / 19 ソングシート

【年末年始の予定】

* 12月26日(日)

・ 年末感謝礼拝

第1礼拝 9時より

第2礼拝 11時より

・ 年末感謝会 13時半より

* 2022年1月1日(土)

元旦礼拝 11時より

・ オンライン配信を行います。

・ オンラインをご活用ください。

・ 礼拝堂での出席を希望される方は

事前の申し込みをお願いします。

・ 記念撮影はありません。

* 1月2日(日)

聖日礼拝 11時より

・ 礼拝は1回のみとします。

・ オンライン配信を行います。

時間にご注意ください。

* 1月10日(月祝)

新年聖会 10時半、13時半

講師 小野寺従道師

基督兄弟団 理事長

基督兄弟団横浜教会

牧師

・ 蒲田が会場です。

・ オンライン配信があります。